

# Creative Island Nakano- shima

2024 11.1 Fri — 30 Sat

大阪を、  
ナカから  
おもしろく。

創造的な実験島  
クリエイティブ  
アイランド中之島



2024年11月、大阪・中之島の13機関が連携した  
クリエイティブコンテンツを発信するスペシャルプログラムを開催！

## リリース概要

大阪・中之島周辺に位置する、文化施設などを中心とした13機関による国内最大規模の創造ネットワーク組織「クリエイティブアイランド中之島」は、11月よりスペシャルプログラムとしてさまざまなイベントを開催します。2024年度は、シンボルシンポジウムやナイトミュージアム、リバークルーズツアーを含む5つのプログラムによって、クリエイティブアイランド中之島の取り組みを内外に発信します。文化と経済の両輪による持続可能な都市のリブランディングによって、“世界中の人々が訪れ集うクリエイティブなまち中之島”を目指します。これからの創造的な未来にご期待ください。

## スペシャルプログラム

実施期間：2024年11月1日（金）－11月30日（土）  
開催方法：実来場

- |           |  |
|-----------|--|
| 11/1 [金]  | 岡田利規「中之島15の場所での物語」創作発表<br>中之島プロモーション   |
| 11/20 [水] | 「中之島15の場所での物語」トーク&リーディング<br>エクスチェンジプログラムvol.1 大阪市立東洋陶磁美術館×graf                     |
| 11/21 [木] | 中国文化とお茶を楽しむナイトミュージアム<br>エクスチェンジプログラムvol.2 国立国際美術館×大阪中之島美術館                         |
| 11/23 [土] | コレクションをめぐるナイトミュージアムツアー&トーク<br>クリエイティブアイランド中之島×JSTサイエンスアゴラ×中之島パビリオンフェスティバル2025 共同企画 |
| 11/24 [日] | ラウンドテーブル Playable Island - 中之島で実装する創造的なアイデアの提案<br>中之島プロモーション                       |
| 11/30 [土] | RADIO CRUISE 中之島 - 歴史・建築・アートをめぐる小旅行  |



(協力：中之島まちみらい協議会 / 写真提供：朝日新聞)

## プログラム TOPICS

クリエイティブアイランド中之島 × JST サイエンスアゴラ × 中之島パビリオンフェスティバル2025  
共同企画によるラウンドテーブルを実施

11/24 Sun.

共同企画

クリエイティブアイランド中之島 × JST サイエンスアゴラ × 中之島パビリオンフェスティバル2025

クリエイティブアイランド中之島 × JST サイエンスアゴラ × 中之島パビリオンフェスティバル2025 共同企画  
ラウンドテーブル Playable Island  
- 中之島で実装する創造的なアイデアの提案

世界人口の半数以上が都市に暮らす現代、持続可能な未来都市のあり方を議論することの重要性がうたわれています。「持続可能な開発のための2030アジェンダ/SDGs」が国連で採択されてから10年後にあたる2025年には、大阪・関西万博「いのち輝く未来社会のデザイン」が開催されます。そして同時期に、水都大阪のシンボルアイランド「中之島」では、「キタ」や「ミナミ」とは異なる、歴史文化と水辺環境を有する「シマの魅力と可能性を最大限に活かした」「中之島パビリオンフェスティバル2025」を開催します。

そこでラウンドテーブル「Playable Island — 中之島で実装する創造的なアイデアの提案」では、「Play(遊び)」を通して「Island(都市の島)」における共有体験や価値創造につながるアプローチを構想する機会の創出を目的とし、未来を志向する若い世代に呼びかけ、公共公開空地や舟運・水辺空間などを活用する企画を共に考えます。私たち一人ひとりの意識や価値観が行動を変え、個人からコミュニティへ、さらに地域や街の変化に、そして醸成へと寄与する集いになれば幸いです。



## プログラム

## 第1部 (参加者限定)

13:00~15:00・概要説明とテーマ発表等  
・グループワークショップ

## 第2部 (一般公開)

15:00~16:00・主催者挨拶  
西尾章治郎  
(大阪大学総長/クリエイティブアイランド中之島実行委員会 委員長/中之島パビリオンフェスティバル2025 実行委員会 委員長)

## ・各グループによる発表

## 16:00~17:00・講評とクロストーク

登壇者：菅谷富夫(大阪中之島美術館 館長)  
堀越礼子(朝日新聞社 取締役西日本統括/大阪  
本社代表兼文化事業エグゼクティブプロデューサー)  
総合司会：木ノ下智恵子(大阪大学 21世紀懐徳堂 准教授)

## 日時|11月24日(日)

13:00~15:00 第1部=グループワークショップ(参加者限定)

15:00~17:00 第2部=グループ発表、講評とクロストーク(一般公開)

場所|大阪中之島美術館 1階ホール

定員|第2部参加者60名=事前申込優先 ※定員になり次第締切

参加料|無料

主催|大阪大学 21世紀懐徳堂、クリエイティブアイランド中之島実行委員会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

共催|中之島パビリオンフェスティバル2025、科学技術振興機構、大阪中之島美術館

委託|令和6年度日本博2.0事業(委託型)

第2部(グループ発表、講評とクロストーク)申し込み

※定員になり次第締切

問い合わせ|ラウンドテーブル企画「Playable Island」合同事務局

npf\_ci\_scienceagora2024@astem-co.co.jp



## About

2025年シンボル事業

中之島パビリオンフェスティバル2025~水都大阪の学術芸術の祭典~

多様な文化施設や歴史的建造物が集積する中之島は、大阪・関西万博2025の開催地である大阪が誇る「水都大阪」のシンボルアイランドです。中之島パビリオンフェスティバル2025は、中之島ブランドを世界で確立させるため、世界水準の既存文化施設をパビリオンと見立て、公園水辺、公開空地と一体となって、オール中之島で取り組む共創コンテツをそこへ集中し、中之島の魅力を一度に体験できる機会を創出、発信する事業です。

【中之島パビリオンフェスティバル2025 実行委員会 構成団体 ※50音順】朝日新聞社、朝日放送グループホールディングス、大阪国際会議場、大阪大学、大阪中之島美術館、関西電力、京阪ホールディングス、国立国際美術館、ダイビル、竹中工務店、ロイヤルホテル

## 【会期予定 ※仮日程】

春フェスティバル 2025年4月中旬~5月末 &lt;コア期間&gt; 5/10(土)~25(日)

秋フェスティバル 2025年8月25日~10月末&lt;コア期間&gt; 8/25(月)・9/27(土)~10/13(月)



## プログラムTOPICS

演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰の岡田利規による、  
中之島を舞台にした「中之島15の場所での物語」を発表

11/01 Fri. —

コンテンツリリース

アーティストクリエイション

アーティストディレクションによる中之島プロモーション(クリエイティブコンテンツ)  
演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰の岡田利規  
「中之島15の場所での物語」を創作発表

## Point 1 / 中之島×世界的アーティストによる言葉による表現

クリエイティブアイランド中之島では、中之島のユニークベニューを舞台にした国内外で活躍するアーティストによる創作発信プロジェクトを実施。ビジュアル重視の時代において、あえて言葉による表現に着目し、ミーティングポイントを活用した創作実験を展開してきました。ゲストに、独特の言語・身体表現を通じて現代社会を捉えた作品で世界的に活躍する演劇作家、小説家、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰の岡田利規氏を迎え、2018年の最西端空白地帯「西の鼻」をテーマにした劇作構想後、数回のリサーチと滞在執筆によって、今夏、「中之島15の場所での物語」が創作されました。

## Point 2 / 15のオリジナルストーリーと15の場所が融合する想像の旅への誘い

水辺環境や文化施設や高層ビルはもとより、過去から現在の歴史文化や未来的SF的感性が混在する15個のオリジナルストーリーが、2024年11月1日(金)より、中之島15か所のミーティングポイントに配架されます。来島者が実際の場所に訪れ、“その1枚”を手にして読み進める言葉に導かれ、目の前の景色と物語の世界観がオーバーラップする想像の旅へと誘われます。

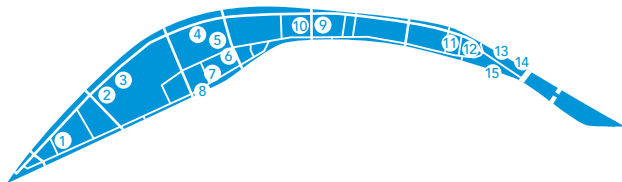
## Point 3 / 2024年プレ事業・2025年万博に向けた展開

2024年、中之島を舞台にした小説の宮本輝「泥の河」や高村薫「黄金を抱いて翔べ」などに次ぐ物語が誕生し、実来訪と移動を伴う唯一無二の物語体験となることでしょう。2025年には、新たなクリエイターへと繋ぎ、映像やAI生成によるリアルとバーチャルの混合表現をテーマにした展開を目指します。

ミーティングポイント  
(サインスタンド)

## 作品タイトル / ミーティングポイント場所一覧

- 1 「三十一階」中之島センタービル
- 2 「プラザ。」大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)
- 3 「リーチバー」リーガロイヤルホテル
- 4 「旧緒方洪庵住宅(適塾)より」大阪大学中之島センター
- 5 「空き地」大阪中之島美術館
- 6 「B4F」国立国際美術館
- 7 「どれがわたしでしょう」大阪市立科学館
- 8 「ここ」graf
- 9 「錦橋」中之島フェスティバルタワー
- 10 「オルタナティブな道行」中之島フェスティバルタワー・ウエスト
- 11 「書物を読む経験の空間化」大阪府立中之島図書館
- 12 「OMMビル」大阪市中央公会堂
- 13 「加彩婦女唄」大阪市立東洋陶磁美術館
- 14 「ふしぎなふね」こども本の森 中之島
- 15 「アートエリアB1前地下通路」アートエリアB1



## Profile | 岡田利規

演劇作家、小説家、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰。2005年『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。チェルフィッチュでは2007年に同作で海外進出を果たして以降、世界90都市以上で作品を上演し続けている。音楽家・美術家・ダンサー・ラッパーなど様々な分野のアーティストとの協働を積極的に行っている。2016年からはドイツの公立劇場レパトリー作品の作・演出を継続的に務め、2020年『掃除機』(ミュンヘン・カンマーシュピーレ)および2022年『ドーナ(ツ)ツ』(ハンブルク、タリア劇場)でベルリン演劇祭に選出。小説家としては、2007年に『わたしたちに許された特別な時間の終わり』(新潮社)を刊行。第2回大江健三郎賞受賞。2022年に『ブロッコリー・レポリュション』(新潮社)で第35回三島由紀夫賞および第64回熊日文学賞を受賞。2025年からは東京芸術祭のアーティストディレクター、2026年からは東京芸術劇場の芸術監督(舞台芸術部門)に就任する。



©Kikuko Usuyama



11/20 Wed.

中之島プロモーション  
アーティストクリエイション

## 中之島15の場所での物語 トーク&リーディング

11月1日より中之島のミーティングポイント15か所での配架をスタートした、演劇作家、小説家、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰の岡田利規氏による「中之島15の場所での物語」。2019年からリサーチを重ねる中で、実際に滞在して執筆の場となった graf porch にて、岡田氏とコラボレーターとの対話を通じて作品の魅力を紐解きます。作者自身のリーディングも予定しています。



※写真はリサーチの様子

日時 | 11月20日(水) 18:30-19:30(受付 18:00-18:30)  
会場 | graf porch  
定員 | 40名  
料金 | 1500円(税込)

登壇者 |  
岡田利規 (演劇作家、小説家、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰)  
服部滋樹 (graf 代表、クリエイティブディレクター)  
竹内厚 (編集者)  
司会 |  
木ノ下智恵子 (大阪大学21世紀懐徳堂准教授)



お申し込み

11/21 Thu.

エクステンジプログラム vol.1  
大阪市立東洋陶磁美術館 ×graf

## 中国文化とお茶を楽しむ ナイトミュージアム

今春、リニューアルオープンした東洋陶磁美術館で開催中の「中国陶磁・至宝の競艶」にちなんで、特別な中国茶を味わいながら中国文化について語り合う、スペシャルな夜の茶会を開きます。新たに誕生したガラス張りのエントランスをクリエイティブユニット graf のファニチャーで設えた、一夜限りの空間とともにご堪能ください。



(写真: 岡本公二)

日時 | 11月21日(木) 18:00-19:30(受付 17:45-18:00)  
会場 | 大阪市立東洋陶磁美術館  
定員 | 30名  
料金 | 3000円(税込、観覧会チケット代含まず)  
主催 | 大阪市立東洋陶磁美術館、graf  
協力 | アートエリア B1

登壇者 |  
黄安希 (中国茶會無茶空茶主宰)  
小林 仁 (大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長代理)  
茶事 |  
黄安希 (中国茶會無茶空茶 主宰)  
川西まり (TE tea and eating 主宰)



お申し込み

11/23 Sat.

エクステンジプログラム vol.2  
国立国際美術館 × 大阪中之島美術館

## コレクションをめぐる ナイトミュージアム ツアー & トーク

国立国際美術館と大阪中之島美術館で、それぞれのコレクションをテーマにした特別展が開催されています。ギャラリートツアーでは、各館の担当学芸員が、展覧作品の中から複数作品を選び、展覧会のみどころを語ります。両館をつなぐトークでは、美術専門誌編集長の視点から、コレクション展の可能性等について掘り下げます。



日時 | 11月23日(土・祝) 16:00-20:00(受付 14:00-18:10)  
会場 | 国立国際美術館、大阪中之島美術館  
定員 | 30名  
料金 | 4000円(展覧会料金を含む、税込)  
※展覧会当日のみ引き換え。展覧会チケットは、当日以降でも利用いただけます。  
主催 | 大阪中之島美術館、国立国際美術館

登壇者 |  
安来正博 (国立国際美術館 研究員)  
高柳有紀子 (大阪中之島美術館 主任学芸員)  
トーク聞き手 |  
橋爪勇介 (ウェブ版「美術手帖」編集長)



お申し込み

11/30 Sat.

中之島プロモーション  
クルーズ企画

## RADIO CRUISE 中之島 - 歴史・建築・アートをめぐる小旅行 -

水都大阪のシンボルである中之島は、中世から現代に至る歴史文化と名建築群、自然を感じる公園や水辺を訪れることが可能です。人気 DJ の野村雅夫氏をゲストに迎えたスペシャル・リバークルーズでは、ラジオ番組のように、歴史・建築・アートにまつわるエピソードや音楽を紹介し、水上から眺める中之島の楽しみ方を提案します。



日時 | 11月30日(土) 11:00-12:00(受付 10:30-11:00)  
集合場所 | 八軒家浜船着場  
ルート | 土佐堀川~堂島川を経て中之島を1周  
料金 | 4000円(チケット料金を含む、税込)  
定員 | 40名  
協力 | 一本松海運株式会社、FM COCOLO

DJ 出演 |  
野村雅夫 (FM COCOLO DJ、翻訳家)



お申し込み

※各プログラムとも定員に達し次第、受付を終了いたします。※内容は予告なく変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



事業趣旨・構成団体

水都大阪を象徴する“中之島”は、美術館やコンサートホール、科学館、国際会議場などの多様な文化施設や歴史的建造物、企業の高層ビル群と、公園や水辺環境が共存する他に類を見ない都市の中州であり、パリのシテ島、ベルリンのムゼウムス・インゼルのように世界に誇る国際的な文化資産に満ちています。

「クリエイティブアイランド中之島」は、13 機関による国内最大規模の創造ネットワーク組織が、中之島エリア全体をユニークベニューとしての「創造的な実験島」に見立て、様々なクリエイティブコンテンツを開発・創出していきます。



1. 子どもの森 中之島 2. 大阪市立東洋陶磁美術館 3. アートエリア B1 4. 大阪市中央公会堂 5. フェスティバルホール 6. 中之島香雪美術館



7. 大阪中之島美術館 8. 国立国際美術館 9. 大阪市立科学館



10.graf 11. 大阪大学中之島センター 12. 大阪府立国際会議場



メッセージ

# 大阪を、ナカからおもしろく。

大阪にはミナミとキタだけではなく「ナカ」がある  
 科学、アート、歴史、文化、国際交流、自然  
 ふたつの川に包まれた中之島という小さなエリアに  
 こんなにもゆたかな“学びの水源”が集まっている  
 私たちはそこから湧き出る多様な知を交叉させることで  
 大阪の可能性と創造性をナカから広げていく  
 知と知が会って、また未知がはじまる  
 この小さな島で、  
 私たちはどこまでも学びという旅を続ける  
**クリエイティブアイランド中之島**

コンセプトビジュアル



お問い合わせ クリエイティブアイランド中之島 事務局（アートエリア B1内）  
 TEL : 06-6226-4006 (12:00-19:00) / 休館日 日曜日、月曜日、年末年始 / E-mail : office@nakanoshimalab.jp

令和 6 年度日本博 2.0 事業 (委託型)  
 主催 | クリエイティブアイランド中之島実行委員会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁  
 共催 | 中之島パビリオンフェスティバル2025 運営組織 | クリエイティブアイランド中之島実行委員会  
 (構成団体) 大阪市中央公会堂、大阪市立科学館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪大学、大阪中之島美術館、大阪府立国際会議場、graf、京阪ホールディングス (アートエリア B1)、国立国際美術館、子どもの森 中之島、中之島香雪美術館、中之島まちみらい協議会、フェスティバルホール

